

堀川

かくれ
産業・土木
遺産

橋には相性がある 堀川の橋いろいろ

川の施設で一番目立つのが橋。兩岸を結ぶ交通路として重要な役割を果たすと共に機能美も併せ持ち、地域のランドマークとなっている橋もある。限られた予算の中で求められる機能を果たせるように、最適な種類を選び合理的な設計がなされるが、架けた時代の技術、架ける地域、設計した技術者の個性が反映された様々な橋が堀川には架かっている。

桁橋

橋の始まりは兩岸に丸太を渡した丸木橋だ。桁橋は兩岸の橋台に桁を架けて荷重を支える丸木橋の伝統を引き継ぐ。時代が進み、材料は木から鉄やコンクリートに変わったが、桁橋は今も広く使われ、堀川では川幅が狭い上・中流部に多い。



鋼桁橋 尾頭橋



鉄筋コンクリート桁橋 黒川橋

橋脚付の桁橋

川幅が広く長い橋を架けるには、たわみを少なくする為に桁を太くする必要があり工事費がかさむ。このため、途中で桁を支える橋脚を設けて細い桁で支えられるようにした橋が橋脚付の桁橋である。堀川では中・下流部に多い。



橋脚付鋼桁橋 大瀬子橋



橋脚付鉄筋コンクリート桁橋 天王崎橋

アーチ橋

桁橋に比べ剛性が高くたわみが少ないという利点があり、姿も優美である。船などの障害になる橋脚がないので、^{はしけ}筏が盛んに行きかかった堀川では中流部に架けられた。



鋼アーチ橋 岩井橋



鉄筋コンクリートアーチ橋 桜橋

ラーメン橋

桁と橋脚をしっかりと結合したのがラーメン橋である。桁橋より細い桁で造ることができ、デザイン的にも面白い。堀川では上・中流部に多い。



鋼ラーメン橋 堀端橋



鉄筋コンクリートラーメン橋 洲崎橋

吊り橋

塔から伸びるメインケーブルで桁を吊っているのが吊り橋である。長い橋を橋脚なしで架けられ、デザイン的にもスマートである。堀川では、平成元年に開催されたデザイン博の入場ゲートとして架けられた熱田記念橋だけが吊り橋である。



吊り橋 熱田記念橋